



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長

(氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 平成26年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,605	△3.3	△736	—	△767	—	△1,057	—
26年3月期第1四半期	6,830	39.1	△433	—	△604	—	△848	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △1,047百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △784百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△21.41	—
26年3月期第1四半期	△17.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	46,639	13,917	29.8	281.67
26年3月期	47,601	15,063	31.6	304.87

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,917百万円 26年3月期 15,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日毎の配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	22.5	650	362.1	500	864.9	400	864.6	8.10
通期	42,000	19.4	1,500	103.8	1,300	132.1	1,000	158.4	20.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	51,926,194 株	26年3月期	51,926,194 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,517,154 株	26年3月期	2,516,890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	49,409,811 株	26年3月期1Q	49,411,116 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、海外では中国の経済減速不安など様々なリスクがありますが、国内では円安基調の継続や経済政策を背景として景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況において、液晶パネル業界は中国において大型パネル分野の受注が継続しました。また、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器向け中小型パネル分野の受注は堅調に推移しました。

半導体分野は、先端分野での受注が継続しました。

真空応用分野では、光学薄膜（反射防止膜等）関連の受注が増加しました。

一方、液晶パネル前工程及び半導体前工程の売上が第2四半期に集中するため、当第1四半期での売上は前年同期比で若干減少しています。

こうした中で、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は13,080百万円（前年同期比57.7%増）、売上高は6,605百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失は売上総利益に計上された為替差益が前年同期に比べ184百万円減少したこと等により736百万円（前年同期は営業損失433百万円）となりました。経常損失は営業外の為替差損が前年同期に比べ104百万円減少したこと等により767百万円（前年同期は経常損失604百万円）、四半期純損失は1,057百万円（前年同期は四半期純損失848百万円）となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

液晶パネル前工程では、大型パネル分野の新規設備投資があり受注は増加しました。売上は第2四半期に集中するため減少しました。

半導体前工程では、主力の半導体WET装置の受注が増加しました。売上は第2四半期に集中するため減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は3,164百万円（前年同期比17.3%減）、セグメント損失は686百万円（前年同期はセグメント損失70百万円）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

液晶パネルモジュール工程では、中小型パネル分野を中心に受注は増加しました。売上はほぼ前年同期並みとなりました。

半導体後工程では、受注はほぼ前年同期並みとなりました。売上はフリップチップボンダを中心に増加しました。

真空応用分野では、光学薄膜形成用スパッタリング装置の売上が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は2,564百万円（前年度期比29.8%増）、セグメント損失は130百万円（前年同期はセグメント損失375百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ962百万円減少し46,639百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ988百万円減少し33,553百万円となりました。これは主に、売掛金が減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し13,085百万円となりました。これは主に、機械装置が増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し32,721百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,146百万円減少し13,917百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期業績につきましては、ほぼ当初の計画通りに推移していますので平成26年4月24日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社の業績は、第2及び第4四半期に売上が集中する傾向があるため、四半期別の業績には変動があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,987	3,535
受取手形及び売掛金	23,209	21,843
商品及び製品	1,747	2,049
仕掛品	3,901	4,803
原材料及び貯蔵品	155	154
繰延税金資産	706	445
未収入金	581	432
その他	345	388
貸倒引当金	△94	△98
流動資産合計	34,541	33,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,442	28,452
減価償却累計額	△18,369	△18,497
建物及び構築物(純額)	10,073	9,954
機械装置及び運搬具	2,452	2,647
減価償却累計額	△1,877	△1,967
機械装置及び運搬具(純額)	575	680
工具、器具及び備品	542	544
減価償却累計額	△458	△463
工具、器具及び備品(純額)	83	81
土地	119	119
リース資産	456	425
減価償却累計額	△298	△280
リース資産(純額)	158	144
建設仮勘定	646	701
有形固定資産合計	11,656	11,681
無形固定資産		
特許権	362	363
リース資産	7	3
その他	292	266
無形固定資産合計	662	633
投資その他の資産		
投資有価証券	111	111
長期前払費用	5	8
繰延税金資産	234	212
その他	390	439
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	740	770
固定資産合計	13,059	13,085
資産合計	47,601	46,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,503	8,578
短期借入金	8,118	8,306
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
リース債務	56	49
未払法人税等	190	125
未払費用	2,190	1,974
前受金	392	527
役員賞与引当金	23	8
受注損失引当金	7	56
資産除去債務	11	11
その他	520	591
流動負債合計	22,014	22,229
固定負債		
長期借入金	700	700
リース債務	123	113
長期未払金	19	4
退職給付に係る負債	6,172	6,173
役員退職慰労引当金	13	8
修繕引当金	403	401
資産除去債務	33	33
長期預り保証金	3,057	3,057
固定負債合計	10,523	10,492
負債合計	32,537	32,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	1,788	631
自己株式	△1,720	△1,720
株主資本合計	15,937	14,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	21
為替換算調整勘定	312	259
退職給付に係る調整累計額	△1,208	△1,143
その他の包括利益累計額合計	△873	△863
純資産合計	15,063	13,917
負債純資産合計	47,601	46,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,830	6,605
売上原価	5,167	5,070
売上総利益	1,663	1,535
販売費及び一般管理費	2,096	2,271
営業損失(△)	△433	△736
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	2	0
受取賃貸料	2	3
為替差益	—	1
貸倒引当金戻入額	4	—
その他	3	7
営業外収益合計	14	12
営業外費用		
支払利息	41	31
為替差損	104	—
その他	39	12
営業外費用合計	185	44
経常損失(△)	△604	△767
税金等調整前四半期純損失(△)	△604	△767
法人税、住民税及び事業税	8	7
法人税等調整額	235	282
法人税等合計	244	290
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△848	△1,057
四半期純損失(△)	△848	△1,057

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△848	△1,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△0
為替換算調整勘定	53	△53
退職給付に係る調整額	—	64
その他の包括利益合計	64	10
四半期包括利益	△784	△1,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△784	△1,047

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	3,827	1,976	534	493	6,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	41	0	—	46
計	3,831	2,017	534	493	6,877
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△70	△375	△16	90	△370

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△370
全社費用(注)	△55
その他	△177
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△604

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	3,164	2,564	386	490	6,605
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	42	—	—	45
計	3,167	2,607	386	490	6,651
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△686	△130	△15	111	△720

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△720
全社費用(注)	△37
その他	△10
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△767

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。